

MP52

<系統> 2液型エポキシ樹脂塗料

<適応下地> ステンレス、アルミ板、ふっ素塗料

- <特長>
- 1) ステンレス、アルミ板、およびふっ素塗料への密着性に優れている。
 - 2) 塗料作業性に優れ、刷毛、ローラー、エアースプレーによる塗装が可能。

<塗料性状>

| 項目 | | 内容 | |
|----|-------------|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| | | 主剤 | 硬化剤 |
| 1 | 荷姿 | 15kgセット 主剤 12kg 硬化剤 3kg | 3.75kgセット 主剤 3kg 硬化剤 0.75kg |
| 2 | 混合比 | 主剤/硬化剤=4/1 | |
| 3 | 色 | グレー | 黄透明 |
| 4 | 光沢 | 艶消し | |
| 5 | 比重(20°C) | 1.2 | |
| 6 | 加熱残分(%) | 65 | |
| 7 | 引火点 | 25 | 25 |
| 8 | 消防法による危険物区分 | 第4種第2石油類 | 第4種第2石油類 |
| 9 | 有機溶剤区分 | 第2種 | 第2種 |
| 10 | 有害物表示 | エポキシ樹脂 13% シクロヘキサン 9% トルエン 13% 芳香族系混合溶媒 6% エチレングリコールモノブチルエーテル 4% | アミン 43% シクロヘキサン 24% n-ブチルアルコール 6% トルエン 4% |

<塗装基準>

(1) 開缶後、主剤4重量部に対し硬化剤1重量部を混合し十分に攪拌する。専用シンナーにより粘度調整を行なう。

(2) 希釈材 SV1-16、SV1-4、SV1-1

(3) 標準使用量と膜厚

| 塗装方法 | ハケおよびローラー | エアレス |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|
| 希釈率 | 0~5% | 0~30% |
| 標準使用量 | 0.15kg/m ² /回X1回 | 0.19kg/m ² /回X1回 |
| 平均膜厚 | 50μm | 50μm |

※標準使用量は平滑面への塗布を想定しており、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、希

<注意事項>

- ・基材表面が5℃以下、50℃以上及び湿度85%以上の場合は塗装を避けて下さい。
- ・降雨、降雪、結露の恐れがある場合は塗装を避けて下さい。
- ・主剤・硬化剤は正確に混合し、均一に攪拌して下さい。また、可使時間内にご使用下さい。
- ・素地の乾燥には十分注意して下さい。

<安全衛生上の注意>

1. 作業前
 - ・本品は業者専用品ですので塗料としての用途以外に使用しないで下さい。
 - ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。
2. 作業場所
 - ・塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭気なくなるまでは、時々換気をして下さい。
 - ・居住者、隣家、車両等へ塗料ミスト・臭い・蒸気等が飛散しない塗装方法を選択すると共に十分な養生を行なって下さい。
3. 作業時
 - ・取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスクをつけ、さらに保護めがね・頭巾・保護手袋・長袖の作業着・襟巻きタオル・前掛等を着用して下さい。
 - ・衣服等に付着した場合は、直ちにその汚れをよく落して下さい。
 - ・容器はみだりに転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずる等の粗暴な行為をしないで下さい。
 - ・塗料を出した際はその都度ふたをして下さい。
 - ・容器からこぼれた場合にはすべり、流出の危険がありますので直ちに拭き取って下さい。
 - ・取り扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行なって下さい。
 - ・取り扱い時、保管時は熱源や火花から隔離して下さい。引火性があります。
 - ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
4. 保管時
 - ・容器は蓋をすると共に直射日光、高温(40℃以下)、高湿を避け火災、腐食、盗難、凍結等の恐れのないところに保管して下さい
 - ・子供や部外者の出入りしないところに保管して下さい。
5. 廃棄時
 - ・廃塗料、廃容器、洗浄水、洗浄容器等は産業廃棄物として処理して下さい。
6. 応急処置
 - ・目に入った場合には直ちに多量の清水で15分以上洗浄し、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい
 - ・皮膚に付着した場合は直ちに多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に異常のある場合は速やかに医師の診察を受けて下さい。
 - ・臭いを吸って気分が悪くなった時は空気の清浄なところで安静にし、必要に応じ医師の診察を受けて下さい。
 - ・誤って飲み込んだ時はできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

※詳しい内容が必要な場合は製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。